

(別添 3)

## 【花巻市】 校務DX計画

### 1 現状

本市では平成30年度から学習・校務両ネットワークの分離を実施するとともに、学校の教職員に校務用の一人一台端末を配置し、グループウェアや共有ストレージ等の環境を整備してきた。一方で、成績管理等の校務事務については学校が独自にソフトウェアを整備し、個別に運用していた。

### 2 統合型校務支援システムの導入による校務DXの推進

文部科学省による「令和5年度 次世代の校務デジタル化推進実証事業」の調査研究の対象となった、岩手県下の全市町村が共同調達する岩手県クラウド版統合型校務支援システムについて、本市においても導入及び運用を進めている。

令和7年2月からはこれまで使用していたオンプレミスのグループウェアから、同システムのクラウド運用によるグループウェアに切り替えを行った。また、校務支援システム本体は令和7年4月からの本格運用を開始する。

岩手県クラウド版統合型校務支援システムの活用により、既存の名簿情報からのシステムへのインポート機能を通じて、メニューごとの手入力が不要となる等の効果が期待されるほか、他の機能の活用も含め、校務DXを推進する。

次世代型校務支援システムの運用環境として掲げられる学習系・校務系の両ネットワークの統合については、教育データの利活用等の観点も含め、令和11年度までに実現するための検討を進めていく。

### 3 その他

文部科学省の「GIGAスクール構想の下での校務DXチェックリスト」の項目である、必要な場合を除く日常業務でのFAXの使用事例及び学校における押印が必要な書類の存在している状況であることから、制度・慣行の見直しを行い、改善を進めていく。